

令和7年 アユの遡上状況について（解禁前情報）

6月1日に多くの県内河川でアユ釣りが解禁となります。茨城県水産試験場内水面支場では、県内河川のうち久慈川堅磐堰（河口から約8 km）と那珂川千代橋（河口から約30 km）を調査定点とし、地元漁業協同組合の協力を得て、2月からアユの遡上調査を実施しました。この結果を以下のとおりまとめましたので、解禁前情報としてお知らせします。

1 アユの遡上状況

(1) 遡上初確認日について

調査定点での遡上初確認日は、久慈川、那珂川ともに3月13日であり、久慈川では例年よりやや遅め、那珂川では例年より早い遡上となりました。（表）

表 茨城県水産試験場内水面支場の調査による遡上初確認日と平均全長

年	久慈川（堅磐堰）		那珂川（千代橋）	
	月日	平均全長（mm）	月日	平均全長（mm）
令和7年	3月13日	79.6	3月13日	90.9
令和6年	3月19日	74.1	3月19日	72.1
令和5年	2月15日	81.7	3月16日	95.4
令和4年	2月24日	70.7	3月15日	79.0
令和3年	3月17日	78.7	3月17日	82.4
令和2年	3月3日	69.0	3月13日	80.6
平成31年	3月5日	71.1	3月19日	86.1
平成30年	3月14日	85.0	3月20日	83.5
平成29年	3月21日	74.9	3月13日	84.7
平成28年	2月23日	86.2	3月23日	81.1
平成27年	2月25日	70.2	3月31日	77.4
平成26年	3月25日	89.4	4月2日	87.0



図1 今年度の調査で初採捕された遡上アユ

(2) 遡上アユの採捕尾数の推移 (投網 10 投あたりに換算した採捕尾数の推移)

久慈川： 3月中旬から4月下旬までは、10年平均値(平成26年～令和5年)を概ね上回る水準で推移し、遡上のピークは例年より早い4月中旬ごろと推測されました。遡上のピークを過ぎた後も、10投あたり採捕尾数は100尾を上回っており、全体として今年の久慈川の遡上量は、昨年よりも上回り、平年よりも上回ったものと考えられます(図2)。

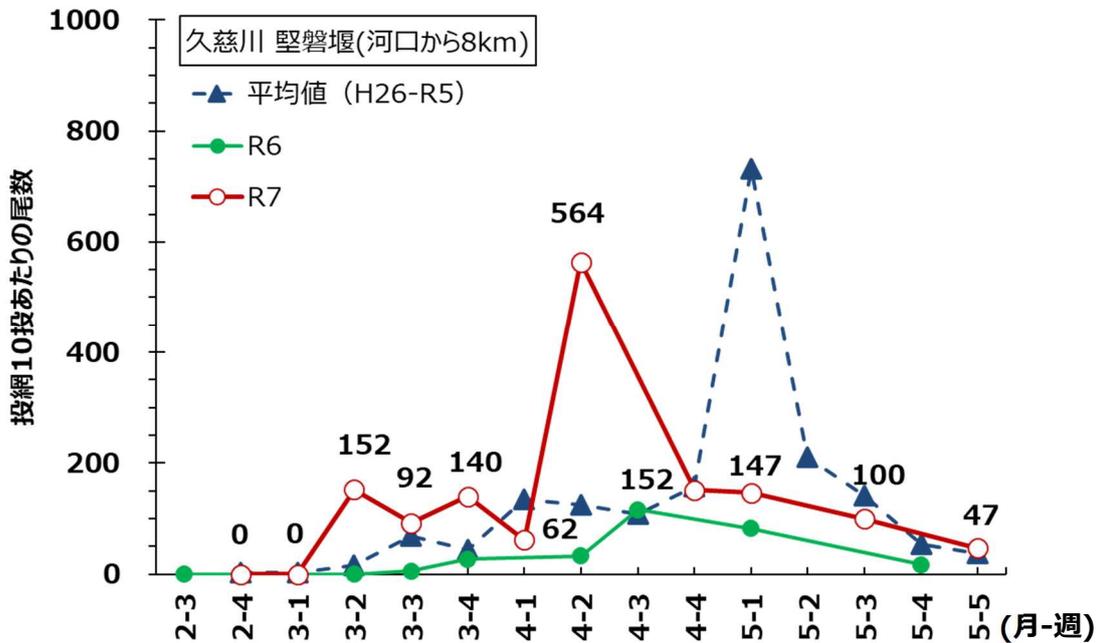


図2 久慈川堅磐堰でのアユ遡上状況

那珂川： 4月以降、10年平均値(平成26年～令和5年)を大きく上回る水準で推移し、遡上のピークは4月中下旬ごろと推測されました。全体として今年の遡上量は、遡上の多かった昨年をさらに上回り、平年も大きく上回ったものと考えられます(図3)。

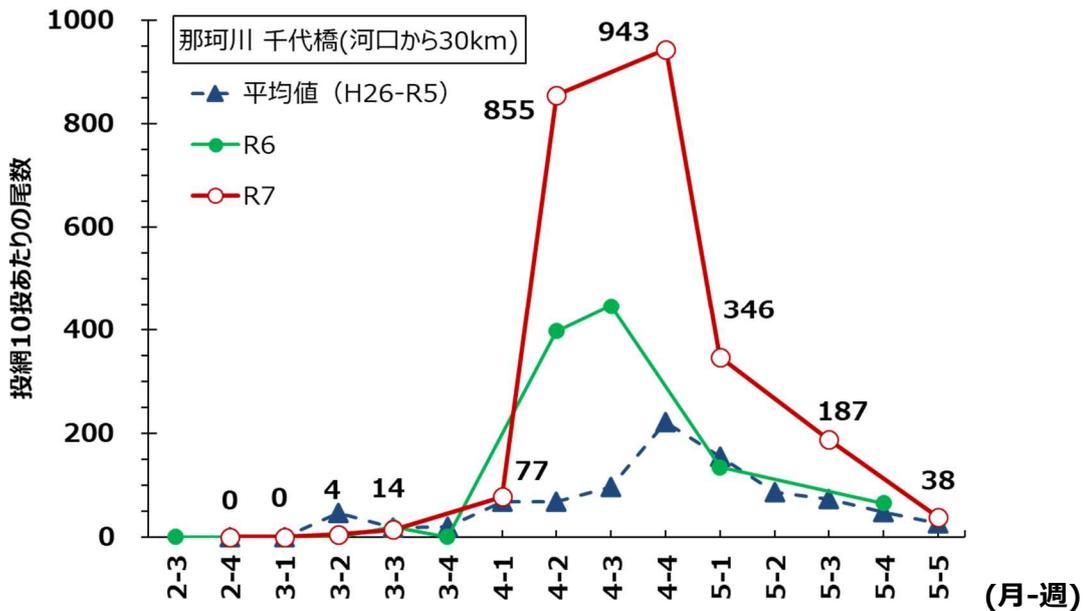


図3 那珂川千代橋でのアユ遡上状況

2. 漁協の聞き取り結果

(1) 久慈川： 本年は、アユの遡上初確認日が例年より遅めでしたが、例年より遡上が多くみられているほか、サイズが大きめのアユが確認されるなど、順調に遡上しているものと考えております。

本年も、県内外問わず多くの釣り客の来訪と好釣果を期待しております。

(2) 那珂川： 今年の初遡上は、例年より早い3月13日に確認されました。4月上旬からアユの遡上が増え、4月下旬の遡上のピークまで、昨年や過去10年平均を大きく上回る遡上量でした。

シーズン中の釣れ具合は、天候や川の水量にも左右されますが、11年前から取り組んでいる産卵場造成等の効果が出て、今年も多くのアユがみられているので、いい釣果となることを期待します。



久慈川 (5月28日)



那珂川 (5月28日)

図4 今年度の直近の調査で採捕された遡上アユ

【参考】河川水温の推移

久慈川・那珂川の調査定点における水温は以下のとおりでした（図5）。

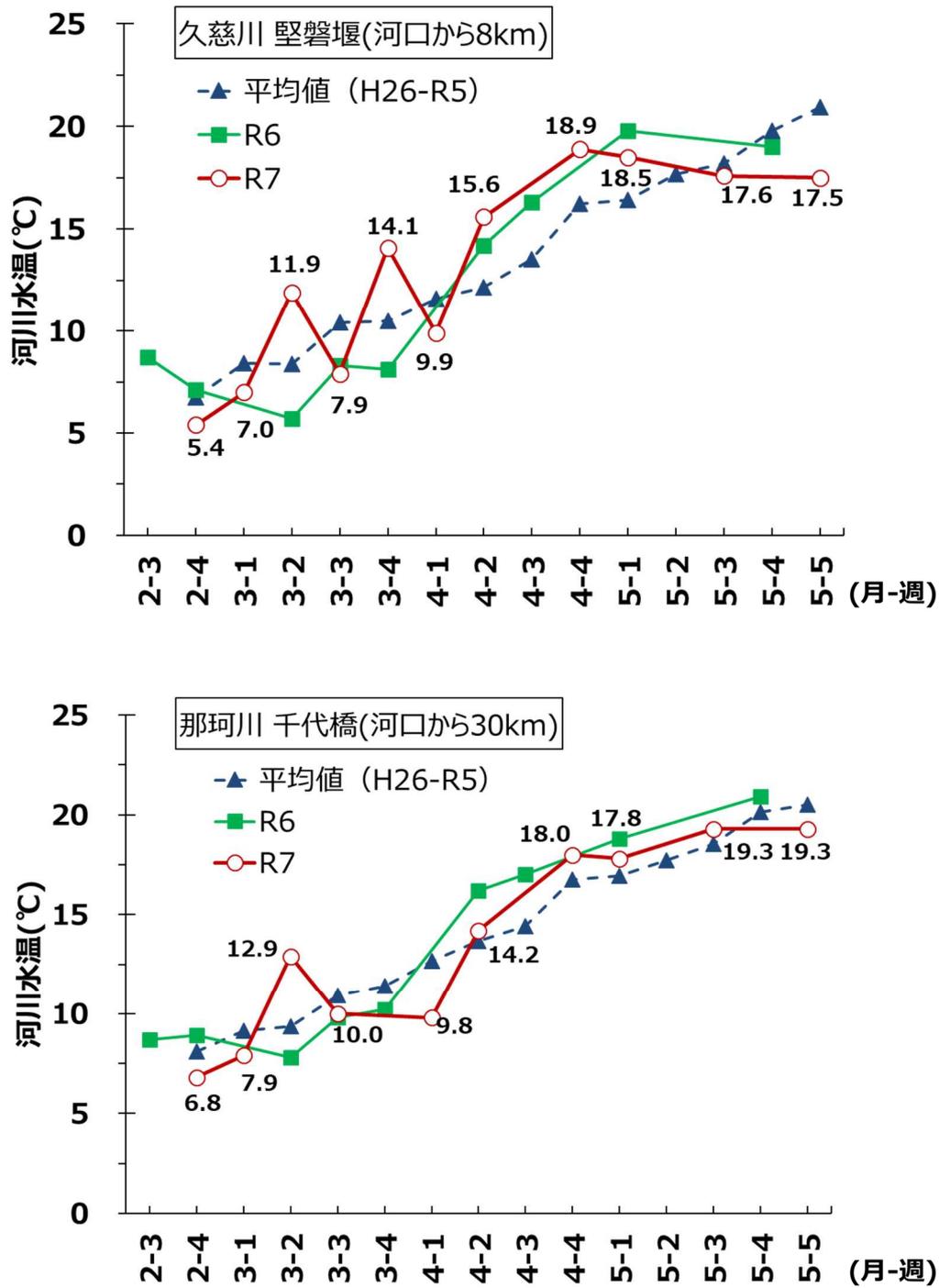


図5 調査定点における河川水温の推移
 (上：久慈川堅磐堰、下：那珂川千代橋)